

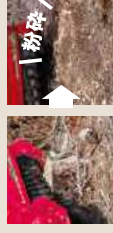
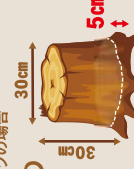
各種アタッチメント

伐根粉碎+下刈り用 アタッチメント オーロラ・ トランプ・シェーバー



繰り返し削る様に
粉碎して行く

粉碎能力90秒!! ※カラマツの場合
直径30cm×高30cmクラスの
伐根なら即座に粉碎。
残材も粉碎可能です。



刈刈は90°回転して4回使用でき 樹種(木の硬さ)に合わせて
削る量を調整可能。
コストを抑えます。

簡単操作



作業機昇降スイッチ付 走行レバー

一本のレバーで作業機昇降、
前後進・左右旋回をこなします。
また、手を離すと中立に戻り停止する
デッドマンブレーキ式です。

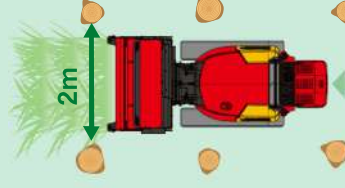


下刈りアタッチメント

生い茂ったブッシュ(藪)を一掃します。
これまで人力(刈払機)での重労働だった
作業を立ち乗りして機械操作だけで行えます。



林道整備で道路際の作業が
石の衝撃を逃がし
刈刈の破損を軽減します。
しやすくなります。



列間2m以上で
ジョージ活躍!!

残材集材アタッチメント



林地残材を一気に集める!!
ローダー、レーキ作業を可能にし、
残材除去作業の省力化と
安全性向上を実現。



運搬荷台アタッチメント

コンテナ苗運搬、資材運搬に!!
傾斜地や藪で荷台を水平維持可能。
200kgまで積載可能だから苗だけでなく
色々な物の運搬に。



山もっとモットには
こんな使い方も

◆ 送電線鉄塔周りの
管理に



◆ 竹林整備に



◆ ゴルフ場周辺・公園・
街路樹の伐根処理に



◆ 灌木処理にも!!



林業・木材産業成長促進対策交付金事業対象機

林野庁補助事業

『山もっとモット』は平成30年度林野庁補助事業(スマート林業推進実践事業)のうち森林作業シナリオ高度化対策の支援を受け開発しました

※掲載価格は全て「税込」表記となります

販売型式一覧

	型式/ CG510 KZCY T	¥18,150,000	+	下刈りアタッチメント
	型式/ CG510 KZCY T	¥15,400,000	+	伐根粉砕+下刈り用アタッチメント
	型式/ CG510 KZCY M	¥13,750,000	+	伐根粉砕+下刈り用アタッチメント

CG510 KZCY T		山もっとモット	+	オーラトラブジエーバー
機械重量	2445kg ※オーラ・トラブジエーバー含む			
燃料/形式	軽油/水冷4サイクル4気筒ディーゼル			
総排気量	2434cc			
定格出力	37.4kW(50.9PS)/2700rpm ※クロス			
最大トルク	159.8N・m(16.3kgf・m)/1600rpm ※クロス			
燃料消費率	246g/kW・h(183g/PS・h)			
燃料タンク容量	60L			
走行速度	前進: 0~6km/h(低速)・0~9km/h(高速)			
後進	0~4.5km/h(低速)・0~7km/h(高速)			
最小回頭半径	2m			
登坂能力	35°			
最大安定傾斜角度	左右 各40° ※無負荷の静止状態			

他アタッチメント

下刈り		残材集材		運搬荷台	
型式/ CG510HM	¥2,750,000	型式/ 5118-920A-000	¥660,000	型式/ 5118-930A-000	¥990,000
機械重量	490kg	機械重量	120kg	機械重量	115kg
刈幅	1545mm	刈幅	845mm	最大積載量	200kg
刈高	0~320mm	刈高	85mm	水平制御可能角度	左右 各25°

開発背景

林業の中でも機械化がまだ進んでいない造林作業
『山もっとモット』はその造林作業に特化した
新たな分野の作業機です。
開発・検証・発売まで約3年、現場のボヤキを凝縮しました。

66%

約2,500万ha

その内

約1,000万haは

人工林

半数は主伐期(木材の収穫(伐採)時期)

課題

主伐は増加傾向だが... 再造林は追いつかず
造林作業は殆ど人力で重労働
(機械化されていない)

担い手の確保が急務

造林工程の機械化が必要
《軽労化・効率化・省力化》
職場環境の改善で若い人材の定着を促す

検証
造林作業(地寄せ・下刈り)で
効率率の上がる製品はないかの検証を行った

検証内容

使用製品/ブッシュカッタージョージ(CG431) 検証場所/傾斜が30°未満の林地

OK

雑草・笹

灌木

伐根

進入不可!!

もっとも支障となっているのが伐根
ブッシュカッタージョージ(堤防除草用製品)のままででは対処できない...

改良が必要

改良

- ① 本体を林地仕様に
- ② 伐根粉砕と下刈りが同時にできるアタッチメントの開発
- ③ コンテナ苗運搬・残材集材も対応できる多目的造林用機械にすること